

复合格助词「に対して」的语义特征和语法功能

张 晶

The Semantic Features and Grammatical Functions of the Japanese Compound Postpositional Particle ‘nitaiste’

Zhang Jing

The Japanese Compound postpositional particles are some of the most important research subjects in Japanese grammar. This paper made a comprehensive research about the semantic features and grammatical functions of the compound postpositional particle ‘nitaiste’. It concludes that the semantic characteristics of ‘nitaiste’ can be divided into two categories: 1) [+actively direct to sth/sb] 2) [+respond to sth/sb]. The two semantic features of ‘nitaiste’ bring about both similarity and difference on its grammatical function of 1). alternation with the single postpositional particle ‘wo’, ‘ni’, 2) subordinate classification that cannot be replaced by single postpositional particle .

Keywords: ‘nitaiste’, Semantic features, grammatical functions

引言

复合格助词¹指动词或名词在丧失部分实质性语义后与格助词结合，发挥助词功能但又独具意义的一类词，它在一定条件下可与单一格助词替换使用（塚本秀樹，1991、马小兵，2011）。

围绕复合格助词，寺村秀夫（1982）、塚本秀樹（1991）就其在句中

的语法地位作出论述；砂川有里子等（1998）、铃木智美等（2007）、田中寛（2010）系统描写了部分复合格助词的语义和用法；永野賢（1953）、砂川有里子（1987）、松木正恵（1990）对包括复合格助词在内的复合助词的定义提出标准；马小兵（2011）则考察了复合格助词与单一格助词的替换问题。但正如所言，目前复合格助词研究从根本上来说，仍存在概念界定模糊的问题，即到底何为“丧失部分实质性语义”，“助词功能”具体又是如何发挥的²。

鉴于复合格助词种类繁多、形式各异，要以一个统一的标准去回答该问题还为时尚早，因此仍需从对个体的描写性研究进行着手。

本文以复合格助词「に対して」³为对象，试图通过全面考察其语义特征和语法功能，探讨「に対して」“丧失部分实质性语义”的具体表现，及在句法范畴内如何对句子结构带来影响。

1. 关于「に対して」的研究综述

「に対して」由格助词「に」和动词「対する」的连用形加接续助词「て」复合而成。

砂川有里子等（1998）将其分为如下三类：1）表“向着／应对”等义，后接行为、态度等朝对象施加作用力的表达；2）「に対して」前接数量词，表“每一数量单位对应……”，可与「について」、「につき」互

1 目前学界有「複合辞」、「複合助詞」、「複合格助詞」三种不同的称法，在对三者的定义和彼此如何区别的问题上不甚清晰。依笔者浅见，「複合辞」涵盖范围最广，形态上由两个词连接起来、作为整体发挥「辞」之功能的可都称为「複合辞」。故不仅包括「だけに」、「ばかりに」、「からには」等发挥接续助词功能的复合词，还包括「に違いない」、「余儀なくされない」等句尾表达形式。而「複合助詞」凸显了「複合辞」作为助词的功能，因此较「複合格助詞」范围更广，还包括「につれて」等无法与格助词替换的类型。「複合格助詞」则强调「複合辞」发挥格助词功能、一定条件下可与格助词替换的类型，范围较小，数量也较少。从这一意义上来说，本文所探讨的「に対して」三种称法均适用，鉴于后文涉及与单一格助词的替换问题，故且称为「複合格助詞」。

2 藤田保幸&山崎誠，複合辞研究の現在 [M]。大阪：和泉書院，2006：17

3 本文暂不关注「に対して」与「に対し」之区别，也使用了「に対し」的用例。

换；3) 用于列举表示两个对立的事物。

铃木智美等(2007)对砂川有里子等(1998)的类型1)进行了更细致的划分,将「Xに対してY」列为四类:1) X为行为Y最终指向的对象,如「彼は被害者に対して手紙を書いた」;2) X为积极对抗、应对类行为Y所指向的对象,如「人々は隣国の侵入に対して勇敢に戦った」;3) X为态度、情感类动词Y指向的对象,如「国民は環境問題に対してあまり関心がない」;4) X为表反应、作用类Y指向的对象,如「ただいまのご質問に対してお答えします」。

以上学者主要从语义角度对「に対して」作了解释,马小兵(2011)则不仅指出「に対して」在语义上显示出一种方向性,在语法上还分为能与单一格助词「を」、「に」替换的类型和不能与二者替换的类型,并分别对每类的主语、X及Y之特征进行了描写。

上述研究总体上抓住了「に対して」的主要特点,但说明还欠完整和系统性,具体为:

1) 对复合格助词「に対して」的语义分析仍然较为笼统,多停留在“方向”之义,缺乏更细致的描述和更明确的分类。

2) 就「に対して」的语法功能,马小兵虽然指出一定条件下其可代替单一格助词,但并未阐明「に対して」与「を」、「に」的替换条件。此外,对于「に対して」不能与单一格助词替换的情况,分类也较为笼统。

因此,我们有必要对「に対して」的语义特征作进一步细化,系统考察其句法及句法中各个成分之间的潜在关联,以进一步加深对「に対して」的理解与运用。

2. 复合格助词「に対して」的语义特征

关于「に対して」的语义,以往研究仅笼统将其解释为主语对客体的指向关系,并未就这一指向关系作进一步分析和分类。塚本(1991)根据

动词部分语义虚化的程度，将复合格助词分为三类，其中以「～に対して」为代表的A类虚化程度最低，这意味着「に対して」的动词部分——「对する」本身的语义保留较为完整，因此我们可从其动词语义入手，得出「に対して」所具备的语义特征。

根据『国語大辞典（第二版）』（尚学図書編集，小学館，1988），「对する」的语义可分为五类：1）「向かい合う」（如「机を挟んで二人が对する」）；2）「応じる、応える」（如「先生が優しく生徒に対する」）；3）「敵対する」（如「捨て身の作戦で優勝候補に対する」）；4）「対になる」（如「成功に対して失敗」）；5）「対比する」（如「明に対する暗」）。此外，『現代国語例解辞典』（小学館辞典編集部，小学館，2005）在前者基础上另增一条「他のものに向かう、関わる」，如「侍が主に対して、刀を抜く」，这里记作6）。

根据以上语义，可进一步将「对する」划为三类。第一类包括1）、4）和5），「对する」所涉及的双方可互换位置而不影响语义，二者处于静态相对的状态；第二类包括6），动作主体S与对象X在静态相对的基础上，主动对X做某动作，形成明确的主动指向关系，（如上例中「侍」与「主」静态相对，并对「主」做出拔刀的动作）。此时「对する」一般无法与S和X形成独立完整的语义，往往变为「て」形作状语，说明它在第一类基础上出现一定虚化；第三类包括2）和3），动作主体S与X形成动态相对的关系，即与S相对的客体先对S施加某种影响或动作，引发S对此进行对抗或回应，从而形成动态平衡，因此可看作S对X的回应指向关系。

综上，「对する」本身的底层语义可概括为三项：1. 二者静态相对，位置调换后语义不变；2. 二者静态相对，主体主动指向X，不可调换位置；3. 二者动态相对，主体回应指向X，不可调换位置。

事实上，动词「对する」的部分语义特征也为「に対して」所承袭。

- (1) 一型が自由業的な独自の仕事を探すのに対して、二型はリタイア前とほとんど変わらない人生を送る。(『レッドライト』)
- (2) アメリカ国防総省は声明を発表し、イランが十数発の弾道ミサイルをイラクに駐留するアメリカ軍などにに対して発射したと明らかにしました。(NHK, 2020.1.8)
- (3) (彼は)私の質問に対して何も答えてくれなかった。(グループ・ジャマシイ, 1998: 443)

如上例所示, 例(1)充当连接句子①「一型が自由業的な独自の仕事を探す」与句子②「二型はリタイア前とほとんど変わらない人生を送る」的接续词, 用于前后对比, ①②位置交替后语义基本不变(本文主要考察作为复合格助词的「に対して」, 对该类暂不论述); 例(2)中「に対して」为复合格助词, 「イラン」与「アメリカ軍」静态相对, 「イラン」主动发射导弹, 「アメリカ軍」是这一行为的最终承受者, 二者不可调换位置; 例(3)中「に対して」为复合格助词, 「私の質問」先作用于主语, 主语「彼」对此进行回应, 二者同样不可调换位置。

即虚化为复合格助词的「に対して」沿袭了「对する」的语义2和3, 语义特征表现为: 1) 静态相对下的[+主动指向]关系; 2) 动态相对下的[+回应指向]关系。前者涉及到的主体与客体不存在时间概念, 为恒常性相对, 因此多指人或物, 也可为恒常性事件, 如「Vること」。后者存在时间上的先后顺序, 因此「に対して」前多接动名词, 也可为一次性事件, 如「Vたこと」。

上述「に対して」不同的语义特征会使句法产生一定差别, 具体在下节中论述。

3. 复合格助词「に対して」的语法功能

根据「に対して」在句中发挥的语法功能，我们可将其分为三大类：1) 能与单一格助词「を」替换；2) 能与单一格助词「に」替换；3) 不能与单一格助词替换。并在此基础上分析各个类别下「に対して」语义特征1)和2)对句法的影响。

1) 「に対して」可与「を」替换

- (4) 平岩は村人の嘲笑、侮辱を／??に対して恨んだ。(裴丽, 2011: 146)
- (5) 平岩は小林を／??に対して恨んだ。
- (6) 平岩は村人が彼を嘲笑、侮辱したことを／△に対して恨んだ。
- (7) a 平岩は村人の嘲笑、侮辱に対して、恨みを持った。
b 平岩は村人の嘲笑、侮辱に対して、恨まずにはいられなかった。
c △平岩は村人の嘲笑、侮辱に対して心底恨んだ。
d △村人の嘲笑、侮辱に対して、平岩は恨んだ。
- (8) a 平岩は小林に対して、恨みを持った。
b 平岩は小林に対して、恨まずにはいられなかった。
c ??平岩は小林に対して、心底恨んだ。
d ??小林に対して、平岩は恨んだ。

正如前文所述,「を」与「に対して」替换需要一定的条件,而影响二者替换后自然与否的因素主要有两点:1)「に対して」前接成分对谓语句来说,是否具有足够的方向性或相对性;2)前接成分做「を」格的义务性是否较弱,隐去「を」格后句子接受度是否较高。

上例(4)和(5)中,例(4)的「を」前接成分为动名词,当接「に対して」时,会形成动态相对下的[+回应式指向]关系,例(5)

为有生名词，接「に対して」后形成静态相对下的[+主动指向]关系。但「を」与「に対して」替换后句子均显不自然。

笔者认为，这是由于「に対して」会赋予谓语句指向性，但「恨む」作为心理动词，本身无法像「発砲する」等动词一样对客体施加影响或作用力，即它不符合上述条件1)。因此需要通过调整句子结构，使其满足条件2)，这种调整在「に対して」不同语义特征下会显示出一定的共性与差异。

共性为：①首先，如例（7）a和例（8）a所示，都可将单独他动词变为动宾形式，使句子隐去「～に対して」后仍具备稳定的主谓宾结构，即「平岩は恨みを持った」本身接受度较高；②其次，如例（7）b和例（8）b所示，弱化「恨む」的动作性，通过在词尾加「ずにはいられない」等，使动词句接近形容词句，句子「平岩は恨まずにはいられなかった」接受度较高。差异为：①首先，如例（7）c所示，可在动词前加连用修饰语（△表不完全自然，但接受度较高），但（8）c不成立；②如例（7）d所示，可将「～に対して」前置于句首，但（8）d不成立。

不论是加连用修饰语还是将句子调整为“背景-前景”式形式，目的都在于增加或凸显除「～に対して」外的句子信息，使其更具独立性，但为何（7）ab与（8）ab都成立，（7）cd与（8）cd的接受度产生差异呢？

这是由于前者直接从句法上排除了「に対して」前接成分作「を」格的可能性，后者则未能排除。因此后者的接受度还受前接成分种类的影响，其成分越复杂，独立性越高，在句中作「を」格的义务性越低（如例6所示，当其成分为表事件的名词短语时，句子接受度提升）=可与「に対して」替换。反之，当前接成分是有生名词时，独立性最低，在句中作「を」格的义务性最强，因此如例（9）所示，当我们在有生名词前加修饰语，赋予其一定的动态性、事件性时，句子接受度上升，此时「に対し

て」帶有了如例（10）中「のに」般接续助词的性质，使句子缺失「を」格也能成立。

- (9) △平岩は申請を許可しなかつた小林に対して、心底恨んだ。
(10) 花子は太郎が呼びかけたのに、完全に無視した。

综上，主语是有生名词，谓语为光杆心理动词，当「を」接动名词、与主语形成动态相对时，可通过将谓语变为动宾结构、形容词句，或加连用修饰成分、调换语序来提高与「に対して」互换的可能性，当「を」接有生名词、与主语形成静态相对时，一般只能通过前两者实现互换。

不过，当谓语变为动作性更强的言说、动作动词，「に対して」前接成分与主语形成动态相对时，不论是加连用修饰成分、还是调换语序，「に対して」句的接受度均较心理动词更高。

- (11) 石津は追及を／??に対して否認した。（改自『誤認逮捕』）
(12) a 石津は追及に対して、全面的に否認した。
b 追及に対して、石津は否認した。
(13) 例えば五月さんの、ああいう反応に対して太郎はどう解釈したら自分に対しても、五月さんに対しても誠実でありうるのか。（『太郎物語』）

上例（11）中，「追及」为动名词，谓语为光杆言说类动词，「を」不能与「に対して」替换。此时可作如下调整：①在动词前加连用修饰语，如例（12）a；②将「～に対して」置于句首，如例（12）b，与用相同方法进行调整后的例（8）cd相比，（12）ab接受度均更高。当在动词前加连用修饰语时，其种类除了例（12）a的程度副词外，还可以为「ど

う」(如例13)、「どのように」、「いかにして」、提示语「次のように」、「次の通り」、或方式状语「長文を書いて」等多种形式。

另一方面,在可与「を」替换的实际用例中,即便是有生名词,有时也会为表动作或事件的修饰语所修饰,这类句中的「に対して」更偏向于动态相对下的〔+回应指向〕关系。

- (14) 私は政治的関心はすこぶる薄い人間だが、いかがわしい噂のある人物がいっこうに批判を受けることもなく、選挙のたびごとに当選してしまう事実を不思議に思う。そういう選挙民に対して、これでいいのかな、と思わないわけにはいかない。(『真面目半分』)
- (15) 米軍再編に絡む艦載機移転問題を抱える岩国市の福田良彦市長は8日、沖縄・普天間基地移設問題など再編見直しで明確な方針を打ち出さない鳩山内閣に対し、「まず国が方向性を決め、説明責任を果たすべきだ」と批判した。(裴丽, 2011: 144)

例(14)中N为有生名词「選挙民」,前接连体修饰语「そういう」,代指事件「いかがわしい噂のある人物を批判することなく選んでしまった」,例(15)的N为有生名词「鳩山内閣」,前接表事件的连体修饰语「沖縄・普天間基地移設問題など再編見直しで明確な方針を打ち出さない」,即二者均可看作N对主语施加作用或影响力,引主语作出反应的回应指向关系,此时谓语部分多为三价⁴认知言说类动词,和「〜と」构成「Nに対して〜と思う／批判する／褒める／讃える／言う」等形式,语

⁴ 这里的“价”即日语中的「結合価」,指一个谓语动词在语义上所要求的名词成分的数量,要求一个NP的动词叫一价动词,要求三个NP的动词叫三价动词。典型的三价动词如「教える」,同时要求施事、受事和接受者。此外还有本文列出的「思う」、「言う」、「考える」等言说认知类动词,在「NがNを〜と／にV」的引用类句式,谓语动词同时要求施事、受事 and 引用内容。

义褒贬兼可。

此外，也有部分用例中，N隐去了表动作或事件的连体修饰语，但这种隐去是基于语言的经济性原则，我们可通过人为补出，仍将「に対して」看作回应指向关系。

- (16) タケルさんに対しては、きっと検事が追及してくれると思います。
(『風水京都・竹の殺人』)
- (17) 違法な点があれば、それらの部署から会社に対して調査することができます。(『Yahoo!知恵袋』)
- (18) 相談を受けると児童福祉司、臨床心理士、医師、保育師、指導員などのスタッフがチームを組んで対応し、児童、保護者、教師などの関係者に対して指導していきます。(『思春期のこころの病気』)

首先，例(16)的N在句首充当话题(背景)，属已知信息，因此可在其前面补出生名词在前文中出现的动作行为「罪を犯した」，例(17)为「れば」接续的条件从句，可将该条件后移至「会社」前，补出其行为「法律に違反した」。同样，例(18)为「と」所接续的条件从句，表「スタッフ」在接受机构委托的条件下，对隶属于该机构的「関係者」进行指导，因此N可变为「相談してきた機関」。此时谓语多为追究、调查、指导类的动作动词，并被「することができる」、「ていく」、「きっと～と思う」等情态包裹，使句子隐去「～に対して」后基于命题+情态的相对完整性，本身接受度仍较高。

当N前没有、且无法补出表动作或事件的修饰语时，「に対して」体现为静态相对下的[+主动指向]关系。此时，除前文中将心理动词形容词化的情况外，还有如下两类：

- (19) 道頼は自分の父——すなわち桂英太郎の血を引いている者には「さん」を付けない。父から見て、弟の悟二朗、甥の政之、姪の弓恵、甥の娘である奈津美の四人だ。それに対して、その配偶者やみね子、さらに八橋雅空に対しては「さん」付けて呼ぶ。(『風水京都・竹の殺人』)
- (20) (犬は) 他人に対してだけ怒るんだったら十分洗えますよ。(『Yahoo!知恵袋』)
- (21) テクノポリス開発機構が、その蓄積された技術をテクノポリス地域の周辺地域の中小企業へ波及させるため、指導・研修事業等を行うことに対して補助する。(『通商産業省中小企業庁』)

第一类如例(19)和(20)所示, N为有生名词, 「に対して」与具有对比功能的提示助词「は」、极限系提示助词「だけ」、「まで」(对应汉语的“只”、“连”, 也可称为焦点敏感算子)结合, N是句子显性或隐性的对比焦点。此时谓语部分即便接心理动词, 也不必变为形容词句。

第二类如例(21), 「に対して」前接成分为名词短语, 由于其与谓语动词几乎同时进行, 并未构成时间顺序的相似性, 因此可看作静态相对关系。此类成分结构复杂, 尤其是当其含有「を」格的动宾结构时, 为避免两个「を」格重复带来理解上的困难, 将结构外层「を」替换为「に対して」的义务性更高, 此时动词多为「補助する」、「サポートする」、「指導する」、「支援する」等动作动词, 且能以光杆动词的形式出现。

总之, 从整体上看, N越是具体的物象, 谓语动作性越弱, 在将「を」变为「に対して」时越需要弱化谓语的動作性, 使句子偏向于状态性。相反, 越抽象且结构越复杂, 谓语動作性越强, 则其作为单独动词在句中的可接受度越高。

2) 「に対して」可与「に」替换

- (22) とにかくそれは何かに固執している男の表情である。何に固執しているのか？ 自分の貧窮に対して（固執している）か、生い立ちの暗さに対して（固執している）か、それもわからない。（『良友、悪友』）
- (23) a 選手たちは観客の声援に／??に対して応えた。（改自グループKANAME, 2007:29）。
a' 選手たちは観客の声援に対して手を振って応えています。（グループKANAME, 2007:29）
b 企業が個別の消費者に／??に対してアクセスした。（改自『中小企業白書』）
b' 企業が個別の消費者に対して直接アクセスした。（改自『中小企業白書』）

「に」与「に対して」均对NP具有指向性，但后者指向性更强。如上例（22）所示，当谓语「固執している」承前省略时，为了强化这一指向逻辑，NP更常接「に対して」而非「に」。因此，如例（23）ab所示，「に対して」的强指向性决定其不论是动态相对还是静态相对，一般无法在非动宾结构、没有连用修饰语的单独动词作谓语的短句中出现，它往往出现在动宾结构、有连用修饰语的较长的句子中，如（23）a'、（23）b'，甚至统辖整个语段，如下例（25）。

首先，当「に対して」为动态相对下的〔+回应指向〕时，谓语多为回应、反抗类自动词，前接连用修饰语，多以数个分句构成语段的形式出现。

- (24) 一連の寺内内閣の言論弾圧に対し新聞社は激しく抗議し、言論報道の自由に関する運動に発展していった。（『weblio辞典用例』）

- (25) この南方からの攻撃に対して、日本軍は夜襲によって反撃したが、米軍は一つ一つ山岳陣地を奪取し、日本軍はしだいに分断されていった。(『レイテ決戦』)
- (26) こちらの憤激に対して、大倉組商会も負けてはいない。涼しい顔でそう回答した。(『擾乱1900』)
- (27) 特に技術面では、1 植物検疫に向けたカイガラムシやセンチュウ類の防除対策、2 海上輸送での品質維持、3 梱包資材の選択など、の課題に対して、普及センターの協力を得つつ取り組んでいる。(『農耕と園藝』)

如上例所示，句子谓语动词为「抗議する」、「反撃する」、「回答する」、「取り組む」等动作动词，连用修饰语可为①程度副词（如例24）；②由「Vて」、「で」、「によって」等接续的方式状语（如例25、26）。「～に対して」的统辖方式有两种，①「～に対して」与主谓语出现在段首，「～に対して」与该句谓语动词发生关联（即该谓语动词要求「に」格），后接语段与首句形成顺接或逆接的间接关系，如例（24）和（25）；②「～に対して」与谓语被其他分句分别切到段首和段尾，「に対して」可同时与多个分句的谓语动词发生关联（如例26），也可只与段尾动词发生关联（如例27）。

不过，当「に対して」为静态相对下的 [+主动指向] 时，谓语部分多为动宾结构，且句子多以单句的形式出现。

- (28) 7日午後5時半ごろ、イランはイラク国内のアメリカ軍や連合軍の施設に対して、十数発の弾道ミサイルを発射した。(BBC, 2020.1.8)
- (29) 日本人は内向きですから…相手に対して本当の影響力を与えてお

- らない結果になっておるのではないか。(『国会会議録』)
- (30) 今回の酒税法案で、財政当局として酒に対して、どういう基準で税率をかけているのでしょうか。(『国会会議録』)
- (31) しかしそれでも、わたしは彼に対して、尊敬の気持ちを持っている。(『新本忠臣蔵』)

如上例及前文中例(23) b' 所示, 谓语句可分为三类: ①主语与「に対して」前接成分建立连接或接触, 如「アクセスする」、「連絡する」, 前接连用修饰语; ②主意向「に対して」前接成分发送/提供/给予宾语, 宾语从主语位移到「に対して」前接成分, 如「ミサイルを発射する」、「指示を出す」、「影響力を与える」、「税率をかける」; ③主语对「に対して」前接成分表现出某种态度情感, 如「尊敬の気持ちを持つ」。

总之, 对比单一格助词「に」, 具备强指向性的「に対して」客观上要求在句法上与谓语句动词的距离更远, 但其不同的语义特征又在某种程度上对这一距离作了限制。即动态相对的「に対して」之所以多以语段的形式出现, 是由于具有动作、事件性的NP本身信息较为复杂和独立, 多置于句首, 因此可在「～に対して」与谓语句动词之间插入更多的分句, 而静态相对的「に対して」之所以多以单句形式出现, 是由于其本身作为动词指向的对象, 独立性较低, 自然语序下需更靠近动词, 因此多插入连用修饰语而较少插入分句。

3) 「に対して」不能与单一格助词替换

「に対して」无法与单一格助词替换可分为三种情况: 1. 「に対して」前接成分从语义上可作句子的「を」格或「に」格, 但该位置被其他名词占据, 或与「に対して」前接成分搭配的动词作为动名词充当了宾语, 因此它只能以「～に対して」的方式作句子状语; 2. 「に対して」前接成分从语义上不可作句子的「を」格或「に」格, 但可作「を」格、「に」

格或其他名词的修饰语；3.「に対して」前接成分不能作某个名词的修饰语，是谓语或整个主谓句所指向的对象。

1. 「に対して」前接成分从语义上可作句子的「を」格或「に」格

- (32) 河島は自分が手塩にかけて育て、一時期将来の社長として帝王学を学ばせた入交に対しては、帰国した後の変貌ぶりに落胆した。
(『ホンダ神話教祖のなき後で』)
- (33) …素直に屈服したので少からず良い気になった幕府が、長州に対して、きびしい処分を行なって、幕威を大いに誇示しようと図っていた… (『十五代將軍徳川慶喜』)

例(32)中,「入交」与「変貌ぶり」都是动词「落胆する」所指向的对象,可构成「入交到落胆した」、「変貌ぶりに落胆した」,由于句法上不能同时出现两个「に」格,因此将距动词更远的「入交」用「に対して」来接续。同样例(33)中,「長州」可与动名词「処分」构成「長州を処分する」,但「処分」已与「行う」构成动宾结构,因此只能与「に対して」接续作句子状语。

2. 「に対して」前接成分作句中名词修饰成分

「に対して」前接成分作句中名词修饰成分指「～に対して」能以「～に対する」的形态修饰充当句子某一成分的名词。此时,动态相对的[+回应指向]和静态相对的[+主动指向]的「に対して」表现出一定共性,即:①「に対して」前接成分都可为主语「が」格所指向的对象;②「に対して」前接成分都可为表存在的「が」格指向的对象。

①「に対して」前接成分都可为主语「が」格所指向的对象

- (34) 小沢代表の続投宣言に対し、会場からは大きな拍手が起こりました

た。(马小兵, 2011:42)

- (35) この日、松平容保に対して、武家伝奏の権中納言飛鳥井政典から勅旨が沙汰された。(『新撰組』)
- (36) 専属アーティストへの給料だけはなんとかやりくりしたが、社員に対しては遅配、欠配が慢性化していた。(『陽はまだ昇る』)
- (37) 全身を戦かせている妻に対して、雲平はごく自然に振舞った。(『華岡青洲の妻』)

例(34) 中的「小沢代表の続投宣言に対し」修饰主语「大きな拍手」, 可构成「小沢代表の続投宣言に対する大きな拍手」, 此时, 「対する」表现为应对类语义, 因此也可变为「小沢代表の続投宣言に応える大きな拍手」, 即该「に対して」为动态相对下的 [+ 回应指向] 关系。

例(35)、(36)、(37) 则为静态相对下的 [+ 主动指向] 关系, 分别可与主语构成「松平容保に対する勅旨」、「社員に対する遅配、欠配」、「全身を戦かせている妻と対する雲平」, 此时例(35)、(36) 的「対する」表现为单向指向之义, 例(37) 表现为双向面对之义。

②「に対して」前接成分都可表存在的「が」格指向的对象

- (38) 都市再生、環境、そして少子高齢化社会が来る、そういうことに対して、重点七項目がございます。(『国会会議録』)
- (39) 自分にはそれくらいの功績が会社に対してあるはずだ。(『イン・ザ・プール』)

例(38) 中「～に対して」修饰「が」格「重点七項目」, 可变为「そういうことに対する重点七項目」, 「対する」为应对类语义, 因此还可换成「そういうことに対応する重点七項目」。

例(39)中「～に対して」修饰「が」格「功績」,可变为「会社に対するそれくらいの功績」,「対する」为单向指向义。此时谓语动词均为表存在的「ある」。

不过,当「に対して」为动态相对的[+回应指向]义时,NP还可作为①宾语「を」格指向的对象;②句子修饰语指向的对象。

(40) ソ連の脅威に対して日本は終局的には核武装をすべきだ。(『無告の民と政治』)

(41) トリプトファンなどは、不安症に対して、ほとんど薬物のように強力に働く。(『脳に効く栄養』)

例(40)中「～に対して」修饰「を」格「核武装」,可变为「ソ連の脅威に対する核武装」,「対する」为对抗义,因此还可换成「ソ連の脅威に対抗する核武装」。

例(41)中「薬物」修饰动词「働く」,「～に対して」修饰「薬物」,可变为「不安症に対する薬物」,「対する」为对抗类语义,因此还可换成「不安症に対抗する薬物」。

3. 「に対して」前接成分为谓语或整个主谓句所指向的对象

当「に対して」前接成分为谓语或整个主谓句所指向的对象时,可进一步分为两类:①「に対して」不可与其他助词替换,「に対して」前接成分作为谓语动作指向的对象,具有一定的义务性;②「に対して」可与其他连词或助词替换,从语义上看,「に対して」前接成分并不必然是谓语的对象,但通过接续「に対して」,实现了从非对象到对象的转变。

① 「に対して」不可与其他助词替换

(42) …私が何度も店に行って、話を聞いたり撮影することに対して、

金さんは周りの目を気にしていた。(『海のむこうのヒロシマ・ナガサキ』)

- (43) 私はあなたがたに対して、言葉を連ね、あなたがたに対して、わが頭を振るであろう。(『旧約聖書』)

例(42)和(43)中的「に対して」分别为动态相对下的[+回应指向]和静态相对下的[+主动指向]关系,前者指主语对某一动作或事件表现出某种反应,后者指主语面对某人做某种行为动作,即「に対して」前接成分要作为修饰成分存在于句中,一般只能充当谓语的对象,下例则不同。

②「に対して」可与其他连词或助词替换

- (44) 太っていて気にしているのであれば、真剣に痩せることに対して、努力すべきです。(『Yahoo!知恵袋』)

例(44)中,从「真剣に痩せること」与动词「努力する」的语义关系看,前者为后者的目标,因此可用「のため」进行接续,句中用「に対して」,即将这一目标予以对象化。

- (45) 天皇は侵略戦争に対して謝罪しなかった。(『天皇制に関する27の疑問』)

同样,例(45)中的「侵略戦争」是动词「謝罪する」的主题或内容,因此「侵略戦争」可与「について」接续,句中用「に対して」,即将这一主题或内容予以对象化。

- (46) 重星は多世界論者たちに対して、さまざまな問題を生んでいた。
(『地球外生命論争1750-1900』)
- (47) 老人人口の増加は、社会経済に対してかなりの重圧となる。(『日本人への警告』)

而例(46)和(47)中,「多世界論者たち」、「社会経済」均为谓语判断评价的立场、基准,因此可用「にとって」进行接续,此时视角落于「多世界論者たち」、「社会経済」,但句中用「に対して」,即将视角从「多世界論者たち」、「社会経済」转移到主语,把「多世界論者たち」、「社会経済」予以对象化。

4. 结语

综上所述,本文从语义特征和语法功能两个维度,对复合格助词「に対して」进行全面考察,得出以下结论:

1) 复合格助词「に対して」承袭了动词「对する」的部分词典语义,语义特征可分为:①动态相对下的[+回应指向]关系;②静态相对下的[+主动指向]关系。

2) 「に対して」两种不同的语义特征在某种程度上也影响着其语法功能的实现,使二者在共性的基础上产生一定差别。

共性表现为:①「を」与「に対して」的互换需满足一定条件,这一条件为隐去「N/NPを」后,句子接受度仍然较高。因此当谓语为光杆动词时,可通过将谓语变为动宾结构、或将谓语动词形容词化的方式提高二者的互换性;②「に」与「に対して」的互换也需满足一定条件,这一条件为「に対して」前接成分需与谓语动词距离较远。因此当谓语为光杆动词时,可通过在动词前加连用修饰语、将「N/NPに対して」移至句首的方式提高二者互换性;③当「に対して」不能与任何单一格助词替换,

且N/NP能作句中名词修饰成分时，N/NP既可为主语「が」格所指向的对象，也可为表存在的「が」格指向的对象。

另一方面，二者差别表现为：①当谓语动词为光杆心理动词时，为提高「を」与「に対して」互换的可能性，[+回应指向]之义的「N/NPに対して」还可置于句首，或在动词前加连用修饰语，[+主动指向]之义的「に対して」采用同样方法则接受度仍然较低；②「に」与「に対して」互换时，[+回应指向]之义的「に対して」多以数个分句构成语段的形式出现，[+主动指向]之义的「に対して」则多以单句形式出现；③当「に対して」不能与任何单一格助词替换，且NP能作句中名词修饰成分时，[+回应指向]之义下的N/NP还可为宾语「を」格指向的对象、句子修饰语指向的对象。之所以产生上述差别，其根本原因在于不同语义特征之间的NP的信息丰富度、及由此带来的独立性程度存在一定差异，

此外，当「に対して」不能与任何单一格助词替换时，还有一种从语义上看，N/NP并不必然是谓语对象，但通过接续「に対して」，从非对象转变为对象的情况。不同于其他类型，此时的句子主语不必然是有生名词，意味着「に対して」从「对する」承袭的相对、面对之义淡化，其作为从句法上将NP对象化的语法功能进一步凸显。

例句出处

日本国立国语研究所KOTONOHA“现代日本語书面语均衡语料库”
(2020版)

参考文献

马小兵. 日语复合格助词与语法研究 [M]. 北京：北京大学出版社，
2011.

裴丽. 介詞“对”と複合格助詞「に対して」－「客体」を表す用法を中

- 心に [J]. 国際協力研究誌, 2011 (1).
- 砂川有里子. 複合助詞について [J]. 日本語教育, 1987 (62).
- 寺村秀夫. 日本語のシンタクスと意味 I [M]. 東京: くろしお出版, 1982.
- 松木正恵. 複合辞の認定基準・尺度設定の試み [J]. 早稲田大学日本語教育センター紀要, 1990 (62).
- 永野賢. 表現文法の問題—複合辞の認定について— [C] // 金田一博士古稀記念論文集刊行会. 金田一博士古稀記念言語民族論叢. 東京: 三省堂, 1953.
- 鈴木智美等. 複合助詞がこれでわかる [M]. 東京: ひつじ書房, 2007.
- 砂川有里子等. 日本語文型辞典 [M]. 東京: くろしお出版社, 1998
- 塚本秀樹. 日本語における複合格助詞について [J]. 日本語学, 1991 (3).
- 田中寛. 複合辞からみた日本語文法の研究 [M]. 東京: ひつじ書房, 2010.

